

●話題を追って[3]:「危機管理産業展(RISCON TOKYO)2022」10月5日～7日開催

「危機管理産業展 2022」 リアル展示会への積極姿勢戻る

危機管理総合トレードショー「危機管理産業展(RISCON TOKYO)2022」10月5日～7日、東京ビッグサイト西1・2ホールで



危機管理産業展(RISCON TOKYO)2022が10月5日～7日の3日間、東京ビッグサイト西1・2ホールでリアル展示開催される(画像クリックで拡大表示)



主要3分野にはセミナーと連動した特別テーマを設定(画像クリックで拡大表示)



「危機管理」を体感する企画・イベントにも注目(画像クリックで拡大表示)

危機管理をテーマにした総合トレードショー「危機管理産業展(RISCON TOKYO)2022」が、10月5日から7日の3日間の日程で、東京ビッグサイト西1・2ホールで開催される(主催:株式会社東京ビッグサイト、特別協力:東京都)。危機管理産業展は2005年から毎年開催で今回が18回目。「RISCON」(リスコン)は「Risk=危険、危機」と、「Control=管理・制御」からの合成語で、通称(愛称)として定着している。

今回は、「防災・減災」「BCP・事業リスク対策」「セキュリティ」の主要3分野が大幅に出展増。さらに、喫緊の課題をテーマにした併催企画「危機管理DX・サイバー対策ソリューション」「危機管理ドローンソリューション」を新設。昨年から引き続き実施する企画展「感染症対策TECH」を加え、あらゆるリスクを網羅して情報発信する。出展数は265社416小間(共同出展含む。9月2日現在)、来場者は3日間で1万4000名を想定。入場は完全事前来場登録制(無料)。RISCON TOKYO公式Webサイトでは、事前来場登録とセミナー聴講予約登録を受け付けている。

[>>「危機管理産業展\(RISCON TOKYO\)2022」:公式Webサイト](#)

<危機管理産業展(RISCON TOKYO)2022 見どころ・注目ポイント>

1. 差し迫る喫緊の課題を併催企画としてピックアップ
「危機管理DX・サイバー対策ソリューション」「危機管理ドローンソリューション」を新設。企画展として「感染症対策TECH」を設置。Withコロナ/Afterコロナに向けた新たな危機管理ビジネスを提案

[>>危機管理DX・サイバー対策ソリューション](#)

[>>危機管理ドローンソリューション](#)

[>>感染症対策TECH](#)

2. 主要3分野にはセミナーと連動した特別テーマを設定。国内唯一のテロ対策専門展も同時開催

①防災・減災 ～あらゆる災害に対応するための備え～

特別テーマ「災害に強いまちづくり」「気象災害対策」「避難所・備蓄品/帰宅困難者対策」

②BCP・事業リスク対策 ～事業活動における様々なリスクに対処する～

特別テーマ「緊急時ライフライン確保」「労働安全/保安用品」

③セキュリティ ～犯罪・事故から人・建物・設備を守る～

特別テーマ「パブリックセーフティ」

④「テロ対策特殊装備展(SEECAT)」は関係者限定同時開催(クローズドショー)

[>>SEECAT公式Webサイト](#)

3. 『危機管理』を体感する企画・イベントにも注目

会場では「首都東京の危機管理(東京都パビリオン)」「危機管理実演・体験コーナー」「予約制商談専用ラウンジ」「防衛省・東京消防庁・法務省矯正局による車両展示」などを実施。リアル展示会ならではの「体験」と「マッチング」を強化

4. 展示と連動した多彩なセミナープログラム

防災・減災、BCP・事業リスク対策、セキュリティの特別テーマと連動したセミナーや日本の危機管理、世界情勢、DX推進・サイバー対策、ドローン活用など

*セミナー、シンポジウムプログラムより(一部タイトル)

・「どうする日本の危機管理～ウクライナ問題で変わる世界の枠組み～」

・「首都東京の危機管理～関東大震災を振り返り、これからの東京に備える～」



「RISCON-News」の本紙提供記事例(画像クリックで拡大表示)

本紙は、危機管理産業展(RISCON TOKYO)ホームページ「RISCON News」に一部記事を提供しています(下記リンク)。

[>>危機管理産業展「RISCON News」](#)